

令和3年度 中学校「学習指導・評価計画表」 教科【保健体育】学年【2年】担当者 岡嶋一博

知: 知識・技能
 思: 思考・判断・表現
 態: 主体的に学習に取り組む態度

| 月 | 単 題 元 材 | 学 習 内 容 | 観 点 | 評 価 規 準 (B) おおむね満足 | 判断の基準 AとBの違いなど | 評価方法 場面・時期 |
|-----------------------|---|---|--------|--|--|---------------------------------|
| 4 ・ 5 ・ 6 | 生活行動・生 活習慣と健康 喫煙、飲酒、薬 物乱用と健康 | ・生活習慣病の 予防 ・喫煙の害と健 康 ・飲酒の害と健 康 ・薬物乱用の害 と健康 ・薬物乱用の社 会への影響 ・喫煙、飲酒、薬 物乱用の要因と 適切な対処 | 知 | ①生活習慣病は、生活習慣に起因することを ②生活習慣病の予防は、適切な対策を講ずることにより予防できることを、 例えば、心臓病、脳血管疾患、歯周病などを適宜取り上げ理解できるようにする。 ・喫煙と健康について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 ・飲酒と健康について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 ・薬物乱用と健康について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 ・薬物乱用の社会への影響について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用の要因と適切な対処について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 | ・健康は、主体と周りの環境の中で成り立つものであり、生涯を通じて自らの健康を適切に管理、改善していく資質や能力を身に着けている。 | ・毎時間の学習活動状況 ・保健ノート ・定期テスト |
| | | | 思 | ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、健康に関する資料等で調べたことを基に、課題や解決の方法を見つけたり、選んだりするなどして、それらを説明している。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見つけたりするなどして、道筋を立ててそれらを説明している。 | ・内容を工夫してノートを作成し、自ら課題の解決を目指すことができる。 | ・毎時間の学習活動状況 ・保健ノート ・定期テスト |
| | | | 態 | ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、健康に関する+K9:M9資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 | ・学習内容に対し、意見を交換したりして、自分の考えや意見を発表することができる。 | ・毎時間の学習活動状況 ・保健ノート ・定期テスト |

| 月 | 単 題 元 材 | 学 習 内 容 | 観 点 | 評 価 規 準 (B) おおむね満足 | 判断の基準 AとBの違いなど | 評価方法 場面・時期 |
|---|------------------|---------|--------|-----------------------|-------------------|---------------|
|---|------------------|---------|--------|-----------------------|-------------------|---------------|

| | | | | | | |
|---------------------------------|-------|---|---|---|--|---|
| 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 | 傷害の防止 | ・傷害の発生要因 ・交通事故の発生要因 ・交通事故の危険予測と回避 ・犯罪被害の防止 ・自然災害の一次災害と二次災害 ・自然災害による傷害の防止 | 知 | ①交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因、環境要因及びそれらの相互の関わりによって発生することに 関いて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②交通事故などによる傷害を防止するためには、人的要因や環境要因に関わる危険を予測し、それぞれの要因に対 関て適切な対策を行うことが必要であり、人的要因に対しては、安全に行動すること、環境要因に対しては、交 通環境などの整備、改善をすることがあることや、交通事故を防止するためには、自転車や自動車の特性を知り、 関通法規を守り、周囲の状況に応じ、安全に行動をすることが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③自然災害による傷害は、例えば、地震が発生した場合に家屋の倒壊などによる危険が原因となって生じることや、 揺震に伴って発生する津波などの二次災害によっても生じること。また、自然災害による傷害の防止には、自他 関安全を確保するために冷静かつ迅速に行動する必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりし 関いる。 ④傷害が発生した際に、迅速かつ適切な手当は傷害の悪化を防止できることや、応急手当には止血や患部の保護や 関定があり、その方法について、理解したことを言ったり書いたりしていると同時に、実習を通して包帯法や止 関法としての直接圧迫法ができる。 ⑤心肺停止に陥った人に遭遇したときの応急手当には、気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED 使用などの心肺蘇生 関があり、その方法について、理解したことを言ったり書いたりしていると同時に、実習を通して胸骨圧迫、AED 関用などの心肺蘇生法ができる。 | ・人間の健康は環境と深くかかわって成立していることを理解し、日常生活の課題解決に役立つ知識を身に付けている。 ・自然災害及び交通事故などによる傷害の発生要因やその防止対策、応急手当の意義や手順について理解し、日常生活の課題解決に役立つ知識を身に付けている。 ・人間の健康は環境と深くかかわって成立していることを理解し、日常生活の課題解決に役立つ知識を身に付けている。 ・自然災害及び交通事故などによる傷害の発生要因やその防止対策、応急手当の意義や手順について理解し、日常生活の課題解決に役立つ知識を身に付けている。 | ・毎時間の学習活動状況 ・保健ノート ・定期テスト ・小テスト |
| | | | 思 | ①傷害の防止について、それらに関わる事柄や情報などを整理したり、個人生活と関連付けたりして、自他の課題 関発見している。 ②自然災害などによる傷害の防止について、習得した知識を自他の生活に適用したり、傷害の状態に合わせて悪化 関防止する方法を見い出したりして、傷害を引き起こす様々な危険を予測し、回避する方法を選択している。 ③傷害の防止について、自他の危険の予測や回避の方法と、それを選択した理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。 | ・内容を工夫してノートを作成し、自ら課題の解決を目指すことができる。 | ・技能の習得状況。 ・個人やチーム練習、試合等の活動状況。 ・定期テスト。 ・プリント。 |
| | | | 態 | ①傷害の防止について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。 | ・学習内容に対し、意見を交換したりして、自分の考えや意見を発表することができる。 | ・毎時間の学習活動状況 ・毎時間の出欠、遅刻、忘れ物 |